

医療法人盟侑会 理念 「厚生盟侑」

不幸にして障害を持った患者さんを助け、
共に病と闘うことを盟(ちか)い合う
という意味を表現しています。

医療・看護・介護・理学療法・作業療法・心理療法等の各種専門家が集まり、子どもからお年寄りまで皆様一人ひとりの健康づくりのお手伝いをする事で地域の役に立ちたいと考えています。

理事長 横濱 栄子



お車での所要時間

- 札幌市街から約30分
- 長沼町市街地から約20分
- JR島松駅から約3分
- JR恵み野駅から約3分

JRをご利用の方へのご案内

- JR千歳線(普通列車)千歳方面より 恵み野駅下車
- JR千歳線(普通列車)札幌方面より 島松駅 下車

空港からのアクセス

- 新千歳空港から約20分
- 羽田空港から約120分

恵庭市内路線バスのご案内

- ecoバス【島松寿町南】で下車して徒歩約8分
- 中央バス停 北柏木から徒歩約10分
- 島松駅からは恵み野駅・恵庭駅方面に乗り車
- 恵み野駅からは島松駅方面に乗り車
- 恵庭駅からは恵み野駅・島松駅方面に乗り車

無料送迎バス運行中

詳しくはホームページをご覧ください
<https://www.shimamatu.jp/access/bus.html>

医療法人盟侑会 広報誌

盟侑だより

Vol.18

平成31年1月



Contents

- 新年の挨拶
- 外来スケジュール
- 年頭にあって
- 島松病院クリスマス会
- 介護老人保健施設 アートライフ恵庭 大会参加報告
- 島松病院陸上部
- 盟侑フライパン
- 保育所さんぽ

行事暦

島松病院	アートライフ恵庭
1月 新年会	1月 新年娱乐会
2月 節分会	2月 節分
3月 ひな祭り	3月 寿司パーティー
4月 外食ツアー	4月 ふれあいショッピング
5月 お花見会	5月 グリーンコンサート
6月 パークゴルフ大会	6月 アートライフ祭り

島松病院

〒061-1356 北海道恵庭市西島松570番地
TEL.0123-36-5181 FAX.0123-36-5184
ホームページ <http://www.shimamatu.jp>
MAIL simamatu@shimamatu.jp

ご相談先

医療相談課 医療相談員までご相談下さい

島松病院 検索



アートライフ恵庭

〒061-1356 北海道恵庭市西島松567番地1
TEL.0123-37-1511 FAX.0123-37-1516
ホームページ <http://www.artlife-eniwa.jp>
MAIL artlife@artlife-eniwa.jp

ご相談先

支援相談課 支援相談員までご相談下さい

アートライフ恵庭 検索





新年明けましておめでとうございます。

昨年は私にとりまして大きな変化のあった年でした。30数年という長い臨床の場から、介護老人保健施設の施設長という職に就きました。日々、高齢者医療、介護、福祉の世界の大変さをまざまざと認識させられています。

急速に進む高齢化社会を支えるために、行政を筆頭にして医療、介護、福祉施設で様々な対策、取り組みが行われていますが、まだ十分に機能しているとは言えません。さらに支えを充実したものにするには、周囲の見守る目が大切なことはもちろんですが、関連機関相互の有機的な結びつきが不可欠です。

そして、それぞれの現場で働いているスタッフ不足の問題も深刻です。そんな厳しい労働環境の中でも、一生懸命、当事者の高齢者ばかりでなく、その家族にも寄り添ってくれている人がたくさんいます。少しでもみんなの笑顔が見られる様にと、思いやりのある優しい心を失うことなく、日々研修、会議を重ね頑張ってくれています。

今年は少しでも高齢者医療、介護、福祉への関心、理解が深まってくれることを願っています。

当施設も、地域の皆様から、いつでも頼られる存在でいられる様これからも頑張りたいと思います。今年もよろしくお祈りします。

あつし
介護老人保健施設アトライフ恵庭 施設長 能登谷 京

02 外来スケジュール

外来受付時間 ● 新患・再来ともに午前 8:00 から午前 11:30 まで

午前	診療科目/曜日		月	火	水	木	金	土日祝
	精神科	診察室1	山科	渡邊	山科	小野澤	渡邊	休診
診察室2		服部	小野澤	高平	服部	高平	休診	

※土・日・祝日の診療は行っておりません。

平成31年4月1日より外来スケジュールが変更になります。

● 新患・再来ともに午前 8:00 から午前 11:30 まで

午前	診療科目/曜日		月	火	水	木	金	土日祝
	精神科	診察室1	高平 ※4/1より変更	渡邊	高平 ※4/1より変更	渡邊	休診	
診察室2		小野澤 ※4/1より変更	小野澤	服部 ※4/1より変更	小野澤	服部 ※4/1より変更	休診	

※土・日・祝日の診療は行っておりません。

03 年頭にあたって

医療サービスの質の向上を目指して

昨年6月20日からの2日間にわたり、(公財)日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の4回目の更新審査を受審し、同年10月5日付で継続認定を受けました。

病院機能評価とは、国内の病院を対象に組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的、専門的な見地から評価するツールとされています。

受審病院にとっては、第三者の視点で評価を受け、さらに質の高い医療サービスの提供を目指す改善活動を行うための一つの目安とするものです。

島松病院では、この事業の開始にあたり、そのあり方を検討していた北海道病院機能評価研究会に参加し、平成9年に確立した精神科版の評価項目に則り、模擬サーベイを受けました。

結果は、サーベイヤールとして参加された一般科の先生方より、手厳しいご指摘をいただくこととなりましたが、なかには精神科医療に対する見識の相違を感じざるを得ないものもあったと思います。

翌平成10年6月に横濱初代理事長・院長の決断で、日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審し、機構のサーベイヤールの視点での評価を受けることが決定し、マニュアルづくりから始まる評価項目に沿った改善活動に取り組み、小規模精神科病院を対象とした区分で北海道内初の認定を受けることができました。

その後5年ごとの更新審査を受審し、理念に基づく患者中心の精神科医療を提供するため、医療サービスの質改善活動を見つめなおす機会として継続しています。

今後も皆様からのご指導、ご助言をいただければと思います。

北海道胆振東部地震を振り返って

平成30年9月6日(木) 午前3時7分、北海道胆振東部の厚真町を震源とするM6.7、最大震度7の地震が発生し、当地恵庭市においても震度5強の揺れが観測されました。「直下型地震はいつでもどこでも起こるもの」と意識しつつも心の中ではどこか人ごとのように捉えていた、そんな浅はかな考えは吹き飛び、いま現実のものとして有事の備えの重要性を痛感しています。

幸い大きな被害はありませんでしたが、北海道電力の発電所の全停止により、道内全域で停電になる「ブラックアウト」という前代未聞の事態が発生し、JRをはじめ公共交通機関が全休となり、信号機が止まり、固定電話や携帯電話の通信機能に障害など、停電による被害は甚大なものとなりました。

法人の非常用発電機は動力のすべてを賄うまでの能力はなく、懐中電灯や携帯電話の充電は小型発電機により可能でしたが、非常食の配膳や受水槽からの水の補給は人海戦術で対応せざるを得ませんでした。停電は約18時間後に復旧しましたが、冬期間の対策が現状の課題となっています。

災害への対応には不備もありましたが、熊本地震で甚大な被害にあわれた直後に担当された日本精神科医学会学術研修会事務局において、益城病院の犬飼先生をはじめ熊精協の皆さんから頂いた被災報告が、今回大変参考になりました。改めて皆様に感謝申し上げたいと思います。

統括事務長 武田 豊美



精神療養病棟にてクリスマス会を開催しました。各病棟に設けたステージで患者さんによるカラオケ、患者さんと職員と合同でのトーンチャイム演奏を行いました。

ステージ発表を行った患者さん達は、この日に向けてクリスマス会が盛り上がるように唄う曲を考えて練習を行い、トーンチャイム演奏では患者さんと職員と共に練習を重ねていきました。その甲斐もあり、クリスマス会本番ではそれぞれが練習した成果をステージ上で発揮することができました。

各部署の職員同士も協力してダンスやマジックを披露し、会場が一体となってあたたかい雰囲気の中で楽しいひと時を過ごしました。

医療法人盟協会 島松病院 社会復帰療科



全国介護老人保健施設大会埼玉

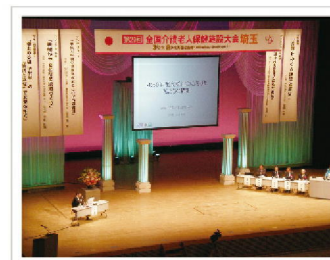
平成30年10月17日から10月19日まで第29回全国老人保健施設大会埼玉が開催されました。今回のテーマは「彩ろう!豊かな高齢社会を～老健は地域づくりの担い手です～」でした。アートライフからは相談職1名、介護職2名が参加し「認知症介護実践リーダー研修修了者の役割の構築～スタッフへのアプローチとその展開～」をテーマに口演発表をしてきました。当施設には実践リーダー研修修了者が9名いますが、具体的に仕事の中で何をすべきか?そして、役割について不透明なところもあり、自分自身がリーダーとしての意識を持ち、スタッフに対してアプローチ、展開が出来る様にする事を目的とした取り組みと課題について発表しました。私達の発表を沢山の方が聞きに来てくださり無事に発表を終える事が出来ました。

演題プログラムは人材、業務改善、AI、リハビリテーション等、様々でしたが全てを聞きに行く事は出来ず、人材、業務改善、AIの演題を中心に聞いてきました。

AIではペッパー君をフロアに配置し一緒に歌を歌う等レクリエーションをする事で利用者様に楽しんでもらいながらコミュニケーションを拡げるきっかけにしたり、ケア者の身体的負担を軽減するスーツを取り入れたり、業

務改善では各ユニットで話し合い削れる業務をとことん削り、見直し効率化して利用者様と関わりを持つ時間にする事で職員の身体的、精神的負担の軽減にもつなげる取り組み等がありましたが、やはり深刻な人材不足に悩まされている福祉業界の現状を真剣に考え、ケア者がやりがいを感じる為に試行錯誤して、人材確保に向けた取り組みの発表が多く、聞きに来る方も、一番多かった様に思いました。

介護老人保健施設アートライフ恵庭 介護福祉士 五十嵐 司



第26回 北海道老人保健施設大会

平成30年11月9日(金)～10日(土)の2日間、札幌プリンスホテル国際パミール館で行われました『第26回北海道老人保健施設大会』に当施設の職員が参加(授賞、報告、奮闘など)しましたのでお知らせいたします。

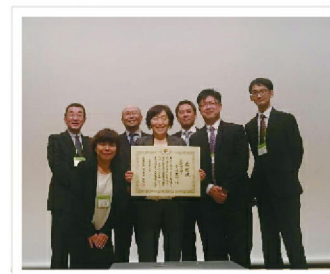
まずは開会に先だって行われた「平成30年度北海道社会貢献賞(介護老人保健施設事業功労者)」の表彰についてです。こちらの賞は多年にわたり北海道内における介護老人保健施設関係事業の発展向上に貢献し、老人保健福祉行政の推進に顕著な功績があった者に対して寄与されるもので、この度は当施設の看護部長が受賞いたしました。なお恵庭市民での受賞者第1号だそうです。看護部長、おめでとうございます。

今大会では「ヒヤリハット報告数の増やし方」と題して当施設の取り組みを口述発表したほか、研修講演ではステージに登壇し、500人以上の参加者を前に『私達も家族です。～認知症に特化した当施設の取り組みと課題』と題して、15分間の発表とシンポジウムでの討論を行いました。また大会の開催にあたっては大会事業の総括、会場の仕切りや管理を担うなど裏方としても様々なところで活躍しました。

大会終盤の懇親会では当施設職員もメンバーとして活動しております『日本民謡三弦道』による素晴らしい演奏と民謡を披露していただきました。『盟侖だより』をお読みいただいている皆さんにも是非一度お聞きいただきたいステージでした。

次回は今年10月、新札幌にあります「ホテルエミシア札幌」にて開催予定です。職員一同、力を合わせて大会を盛り上げていきたいと思っております。

介護老人保健施設アートライフ恵庭 事務部長 齊藤 英樹





2018年もJALマラソンや北海道マラソンのほか、道内最長距離トレイルレースの大雪山ウルトラトレイルなどなど様々なレースに出走しました。そんな中、今季最終レースとして出走するはずだったNACニセコトレイルが胆振東部地震の影響で出走辞退を余儀なくされ、札幌マラソンも台風25号の影響により開催中止に。そんな消化不良な今シーズンを最高の形で締めくくべく、『そうだ!山へ行こう!』と思い立ち、樽前登山にチャレンジしてきました。

以前から登山やトレイルランを経験していたため装備は整っており、天候を気にしつつ日にちを決めてLet's樽前山! 樽前山は溶岩ドームをぐるりと囲む外輪が登山道となっており、風不死岳へ縦走することも可能ですが、今回は外輪一周を目指すことに。樽前山では少しでも曇っていると支笏湖はもちろん先の山も見えないなんてことは日常茶飯事で、そんな不安もありながら七合目より登山スタート。30分程で外輪に到達したのですが、その風景にびっくり! 今年一番と言っても過言でないほど雲ひとつ無い晴天。支笏湖はその大きさが丸わかり。風の強さも気にならない程度。見えない風景ある??ってくらい最高のロケーション。硫黄臭が漂い、火山活動により飛散したたくさんの大きな岩。そんな日常にはない風景を楽しみながらの登山は全行程4時間30分にも及びましたが、下山後は車中で仮眠をとってからジギスカン食べ放題で空腹を満たし、最後の最後まで充実した一日となりました。

マラソンでは各々のペースで走るのでどうしてもゴールはバラバラになってしまうのですが、登山では一斉スタート一斉ゴールなので、より団結感が生まれた気がしました。

2019年は登山部になってしまうのでは?と思わせるくらい充実した今季最終レースとなりました。



医療法人盟侑会 島松病院 栄養科

飲みすぎ、食べすぎで疲れた胃腸を健康に

年末年始のイベントで胃が疲れていませんか。胃は強力な胃酸を分泌し、食べ物を消化していますが、飲みすぎ、食べすぎによって胃粘膜や粘液を中和する働きに異常が起こると胃酸の攻撃から守りきれず胃が荒れてしまいます。疲れた胃を健康にし、新たな一年を過ごしましょう。

ゆっくりよく噛んで、腹八分目。一日三回規則正しく食べましょう。



極端に熱いもの、冷たいものは一気に飲まないようにしましょう。



消化の良い食品や調理法を選びましょう。

できるだけ食物繊維や脂肪が少ない食品をやわらかく調理した料理が適しています。

ほうれん草、じゃがいも、ささみなど



胃の粘膜を刺激する食品や胃酸分泌を高める食品を控えましょう。



唐辛子、カレー、梅干、酢、レモン、コーヒー、炭酸飲料、ビール、漬物など

医療法人盟侑会 院内保育所キューピット

働く皆さんに感謝を



2018年11月の祝日「勤労感謝の日」に、保育所で何か取り組めないかと考えまして、施設管理と栄養科の方に、保育所からプレゼントをお渡しすることにしました。プレゼントは手作りのカレンダーです。カレンダーには、子ども達の手形と足形を使った動物の絵が描かれています。

施設管理の方々には保育士の送迎や保育所施設メンテナンスなどでお世話になっていて、栄養科の方々には、毎日の保育士と子どもの食事の提供でお世話になっています。毎日関わりのある部署ですが、普段なかなか感謝の気持ちを伝える機会がないので、今回の試みは子ども達や保育士にとって大変良い機会となりました。

お渡しする当日、子ども達は手遊びと歌を披露し、「お仕事頑張ってください」といながらプレゼントを渡しました。施設管理の方、栄養科の方どちらにも喜んでいただけたようでほっとしています。また、保護者の方にもプレゼントしたところ、こちらでも大変喜んでいただくことができました。

子ども達からのプレゼントという物は、たくさんの人を笑顔にできるものだという事を改めて実感しました。思えば、保育士も子どもの描いた絵ひとつのプレゼントで笑顔になるものです。



しままつ鳴子まつり

2018年夏、JR島松駅前で実施された「しままつ鳴子まつり」の会場に、保育所の子ども達が製作に参加した提灯が飾られました。この提灯は、保育所の子ども達が作った絵を介護老人保健施設アトライフ恵庭の利用者さんが提灯にしてくださいました。

子ども達の手形でひまわりを表現した絵を使って、とても素敵な提灯を作ってくださいました。完成した提灯を見て、子ども達、保育士達は「すごいね!」「かわいいね!」と大喜びでした。

お祭り終了後はしばらく保育所の天井に飾り、保育所を華やかにしてくれました。お祭りに参加できたこと、そしてものづくりを通じて利用者さんと交流できたことを嬉しく思います。保育所のいい夏の思い出です。

